



ChIP-on-chipの切り札、新登場



Magna ChIP2™

Universal ChIP kit for ChIP-on-chip

プロモーターマイクロアレイ対応型 ChIP アッセイキット

特
長

初めてプロモーターマイクロアレイ向けに最適化されたChIPアッセイキット

検証に用いたプロモーターマイクロアレイ

o Agilent 244K Promoter arrays (human/mouse) 他2社

各種抗体に対応可能なProtein A/G型磁気ビーズを同梱

検証済みの試薬で安心かつ低コストにChIP-on-chipを実現

ミリポアはアジレント・テクノロジー社と共に
ChIP-on-chipのトータルソリューションをご提供します

<http://www.millipore.com/jpchip>

ADVANCING LIFE SCIENCE TOGETHER®
Research. Development. Production.

プロモーターマイクロアレイ対応型ChIPアッセイキット『Magna ChIP²™』

- 「ChIPからchip」を低コストで結ぶアッセイキット
- 各種抗体に対応可能なProtein A/G型磁気ビーズを同梱
- 培養細胞(接着・浮遊細胞)、組織からサンプル調製可能

ここ数年、エピジェネティクス研究がゲノムワイドで行なわれている状況を察し、ミリポアではプロモーターマイクロアレイ対応型のChIPアッセイキット(MagnaChIP²™)の開発を進めてまいりました。この背景には、ChIPアッセイキットは様々な製品が各社から販売されているにもかかわらず、「ChIPからchip」への移行はユーザー独自の検証に委ねられていた、という理由があります。また、各社の試薬を組み合わせることでアッセイ系を組み立てることは、実験系をカスタマイズしやすい反面、パラメータが増え、しかもコスト高になるという側面もありました。

- DNAフラグメントを遺伝子増幅するLM-PCRまでをカバー
- Agilent社他2社のプロモーターマイクロアレイで検証

Magna ChIP²™には最適化された試薬、磁気ビーズ、PCR試薬が含まれています。PCRは、アダプターDNAをDNAフラグメントにライゲーションさせる「Ligation Mediated Polymerase Chain Reaction法(以下LM-PCR)」で行ないます。LM-PCR以降のステップには蛍光ラベリングキット、マイクロアレイが必須となります。マイクロアレイについては、Agilent社、Affymetrix社、Roche社(旧NimbleGen社)のプロモーターマイクロアレイで検証を行なっています。

蛍光ラベリングからマイクロアレイへ

LM-PCR以降の蛍光ラベリング、マイクロアレイに用いる試薬・装置につきましてはAgilent社ほか以下の2社をお奨めしております。詳しくは各社ホームページをご覧ください。

- Agilent Technologies社** <http://www.home.agilent.com/>
- Affymetrix社** <http://www.affymetrix.com/jp/index.affx>
- Roche Diagnostics社** <http://roche-biochem.jp/index.html>

ご注文情報

製品名	アッセイ数量	カタログ番号	希望販売価格(円)
Magna ChIP ² ™ Universal ChIP Kit	3 アッセイ	17-1000	139,000
Magna ChIP ² ™ Universal ChIP Quad Kit	12アッセイ	17-1004	519,000

製品情報の詳細は <http://www.millipore.com/jpchip>

日本エピジェネティクス研究会年会第4回大会 ランチョンセミナー

Agilent Technologies社
との共催!

開催日時: 5月29日(土) 12:00~13:00
会場: 鳥取県米子市文化ホール メインホール

- 第一部** 古関 明彦 先生
理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター
免疫器官形成研究グループ・グループディレクター
演題: 幹細胞とエピゲノム — ChIP-on-chip法を用いたアプローチ
 - 第二部** 田谷 敏明 氏
アジレント・テクノロジー株式会社ライフサイエンス部門
バイオアプリケーショングループ・グループ長
演題: 身近になったエピゲノム解析 — ChIPキットからデータ解析まで
- 提供 アジレント・テクノロジー株式会社・日本ミリポア株式会社

* 製品改良の為、予告なく仕様または価格を変更する場合がございますのであらかじめご了承下さい。 * カタログ中の価格には消費税は含まれておりません。
* 本文中の全てのブランド名または製品名は特記なき場合、ミリポアコーポレーションの商標もしくは登録商標です。 [禁無断転載・複写]

販売店



日本ミリポア株式会社 ライフサイエンス事業本部

<http://www.millipore.com/nihon>

〒108-6023 東京都港区港南2-15-1
品川インターシティ A棟 23階

製品・技術に関するお問合せ

TEL 0120-633-358 FAX.03-5460-0688
ONLINE: <http://www.millipore.com/jptechnservice>

Magna ChIP²™ を用いてのChIP-on-chip 概要(1アッセイ分)

本キットに含まれる試薬でカバーされる実験ステップ	細胞数目安 約10 ⁸ 個 (細胞、抗体により異なります)	DNA架橋	1.5hr	
		磁気ビーズ前処理 (抗体結合)	0.5hr~一晚	
		ソニケーション	1hr	
		抗体反応	一晚	
		ビーズ洗浄・架橋除去	2hr~一晚	
		Proteinase K およびRNase処理	4hr	
		平滑末端処理と リンカーライゲーション	2hr~一晚	
		PCR	4hr	
	アジレント社他2社で検証		dUTP-Cyanine3 / dUTP-Cyanine 5 で蛍光ラベリング	3hr
			ハイブリダイゼーション	2hr
		洗浄と結果の解析	1hr	

約5日